

# 広報 あかいけ

発行所 赤池町役場 編集 総務課 文書広報係 ☎(代表) 2004  
印刷所 赤池印刷 毎月 1回発行

町の人口	
人口	9,484人 (増10)
男	4,553人 (増5)
女	4,931人 (増5)
世帯数	3,048世帯 (増8)
出生	11人
転入	33人
死亡	8人
転出	26人
(55年10月末日現在)	

( ) 内は前月との増減



【町民会館前特設会場で・11月2日】

## 深まる“文化の秋”を楽しむ

展示会・商工まつりに家族づれでにぎわう

今年で九回目を迎える町民文化祭が十一月二日・三日・四日の三日間にわたり行われ、町民会館体育館での展示会を中心に、茶会、囲碁、吟詠、尺八、バザーなど例年どおりの諸行事と、このほか二・三年前から計画中であった赤池町商工会主催による「商工まつり」が、同時に会館前特設会場で行われ、この三日間で約七千人の人の出でにぎわいました。

一日正午から作品搬入が始まったこの文化祭は、二日午前十時開会式のあと展示会をオープン。この展示会では三百三十二人より四百二点の作品が展覧され、出品者はもちろん、一般の愛好者を含む多数の見物人が会場をうずめまし。また同時に、赤池町商工会主催、赤池町後援の「商工まつり」が正午から行われ、特設会場の大型テント内には三十二店が軒を並べ、商品割引きの安値即売や、活魚販売、牛乳の試飲キャンペーン、料理の実演などが行われ、とくに砂糖交換所とビックリ抽選所には人の列が殺到し、家族づれでにぎわうなど好評でした。

また、隣りの同和対策中央研修所では、アトラクションとして、午前九時半より午後五時まで原田直志津会(直方)・藤間勘六郎社中(博多)の皆さん二百七十人の出演により、「鹿児島小原節」を初めてとする百七の「民謡と踊り」が行

行われました。同日午前十時半より町民会館和室においても茶会が同時に行われました。当日の料理教室によるバザーでは、あまりの出入に、うどんやそばが品切れして、あわてて食品の追加注文をするありさまでした。

連休の三日も、午前九時から引き続き展示会、商工まつりが行われ、協賛行事も朝から町民会館和室において、囲碁大会や将棋大会と、昼より研修室で吟詠と尺八の会が行われ、囲碁大会では十六人の参加の中、伏原の濱口實さん(71歳)が優勝。そのほか各地域でもいろいろな催しものが行われ、文化行事に彩りをそえました。

なお、展示会に出品された作品数は次のとおりです。

- ▽生花五〇人(五一点)▽手芸一九人(二九点)▽書道二〇七人(二〇九点)▽絵画三人(六一点)
- ▽三彩一人(三〇点)▽盆栽二八人(五五五点)▽写真七人(二三点)▽俳句七人(九点)の三三三人より四〇二点。

